

めぐみの森だより 2024年12月号



社会福祉法人 雲柱社 めぐみの森保育園

☎ 03-3480-4448

今年は11月でも半袖で過ごせる日があり、やっと冬の訪れを感じられるようになってきましたね。キリスト教では、12月25日の約4週間前の日曜からクリスマス・イブまでの時期をアドヴェントと言います。『アドヴェント』とは待降節とも言われ、イエス・キリストの誕生を待ち望み、準備する期間として過ごします。



5歳児クラスでは今年もクリスマスの聖誕劇に向け、昨年のDVDを鑑賞し、役決めからスタートしました。今年の人気役は『やどや』、そしていつもやりたい子が多く、最後までなかなか決まらない『マリア』には立候補をしたのが1名だったとのこと。

第3希望まで聞いた中にも、マリア役を希望したのは1人だったようで、マリア役は希望をしたAさんに決まりそうです。そんな話を聞いていたので、玄関でAさんにあった際、「マリア役を希望してくれたんだって、よろしくね。」と思わず声を掛けると、はにかみながら深く頷いていました。そのAさんの顔がなんとも頼もしく見えました。

また別の日には、聖誕劇の中で歌う讃美歌の練習を見に行きました。4・5歳が劇の中で歌う曲は全部で10曲あります。その中で、『やどや』『おほしがひかる』は、0歳児クラスから歌い続けているため歌詞を完璧に覚え、リズムよく歌っていました。劇の順番に歌を進めていくと、「はねせんせい、もろびとこぞりてまだ？」とBさんが訪ねています。「まだだよ。」と練習は続きます。10曲目になり、いよいよ『もろびとこぞりて』がはじまると、歌い出しから全力で歌うBさんの姿がありました。別日の練習の際も、「次はもろびとこぞりてを歌いましょう。」と声を掛けると、ピッシと座り直し、素敵なお声を響かせるBさん、Bさんは『もろびとこぞりて』がお気に入りのようです。私もクリスマスの讃美歌の中でお気に入りの曲があり、12月24日、教会でのイブ礼拝に参加した際、その曲が選曲されているととても嬉しくなり、誰よりも大きな声で歌ってしまいます。

めぐみの森保育園では、讃美歌を歌い、クリスマスをお祝いするようになり6年を迎えます。クリスマスまでの期間、憧れた役を演じたり、お気に入りの讃美歌を響かせたり、子どもたちと一緒に、このアドヴェントの期間を楽しみながら過ごしていきたいと思います。

記：園長 藤本 紘子



- ① 育ったところは？
群馬県太田市、自宅の周りは田んぼだらけ、虫を捕まえてあそんでいました。
- ② 私の意外な特技は？
何でもギリギリ間に合わせる。夏休みの宿題は最後にやるタイプ！毎朝電車も駆け込んでいます！！
- ③ 無人島に1つ持っていくなら？
やっぱり、、、現実的には、ナイフですね。
- ④ 苦手な食べ物は？
数年前まで苦手だった「パクチー」を克服したので、今のところありません。
- ⑤ 100万円を使い切る！何をする？
海外旅行、お金がなくなるまで放浪したいです。

